

展覧会プレスリリース

「第24回岡本太郎現代芸術賞(TARO 賞)」展

The 24th Exhibition of the Taro Okamoto Award for Contemporary Art

時代を創造する者は誰か！

1954年、岡本太郎43歳のときに出版された『今日の芸術』。この本には「時代を創造する者は誰か」というサブタイトルがつけられていました。

1996年、岡本太郎没、享年84歳。

その後、岡本太郎記念現代芸術大賞（2006年岡本太郎現代芸術賞に改称）、通称「TARO賞」が創設されました。彼の遺志を継ぎ、まさに「時代を創造する者は誰か」を問うための賞。今年で24回目をむかえた本賞では、616点の応募があり、厳正な審査を行いました結果、24名が入選をはたしました。

作品は、様々な機会をとらえて公表するとともに、川崎市岡本太郎美術館「第24回岡本太郎現代芸術賞」展にて公開いたします。21世紀における芸術の新しい可能性を探る、「ペラボーな」（太郎がよく使った言葉です）作品をご覧ください。



第24回岡本太郎現代芸術賞展ポスタービジュアル

過去入賞作品



第23回岡本太郎現代芸術賞
岡本太郎賞
野々上聡人《ラブレター》



第23回岡本太郎現代芸術賞 岡本敏子賞
根本裕子《野良犬》



開催概要

会場	川崎市岡本太郎美術館 企画展示室
会期	2021年2月20日(土)～4月11日(日)
主催	川崎市岡本太郎美術館、公益財団法人岡本太郎記念現代芸術振興財団
開館時間	9:30～17:00(入館は16:30まで)
休館日	月曜日、2月24日
観覧料	一般700(560)円、高・大学生、65歳以上500(400)円 中学生以下は無料 ※()内は20名以上の団体料金 ※本料金で常設展もご覧いただけます。
同時開催	常設展 「岡本太郎の旅」展(会期:1月28日(木)～4月12日(日))

入選者(50音順)

東 弘一郎	AYUMI ADACHI	植竹 雄二郎	牛尾 篤
袁 方洲	太田 琴乃	大西 茅布	小野 環
かえる かわる子	加藤 立	金子 朋樹	黒木 重雄
さとう くみ子	許 寧	園部 恵永子	唐仁原 希
ながさわ たかひろ	西野 壮平	原田 愛子	藤田 朋一
浮遊亭 骨牌	みなみ りょうへい	モリソン 小林	山崎 良太

出品作品

入選者による 平面、立体、映像、インスタレーション作品 他 24点

審査員(50音順)

榎木野衣	: 美術批評家/多摩美術大学教授
平野暁臣	: 空間メディアプロデューサー/岡本太郎記念館館長
北條秀衛	: 川崎市岡本太郎美術館館長
山下裕二	: 美術史家/明治学院大学教授
和多利浩一	: ワタリウム美術館キュレーター

関連イベント

1) お気に入りを選ぼう！

展示されている入選作品の中から、ご来館の皆さまにお気に入り作品を投票していただきます。投票の結果は、ホームページ等で発表するとともに、上位の作家には記念品を進呈します。

日時：2月20日（土）～3月21日（日）

場所：ギャラリースペース

結果発表：3月25日（木）（予定）

※展示作品をご覧になるには、観覧料が必要です。

2) お手紙プロジェクト

作品への感想などを共有する「お手紙プロジェクト」。来館者に入選作家や作品に対してメッセージを書いてもらう企画です。

日時：2月20日（土）～4月11日（日）

場所：ギャラリースペース

※その他イベント、イベントの詳細につきましては、当館ホームページで随時お知らせいたします。

写真撮影・SNS等への画像掲載について

本展覧会は、会場内をご自由に撮影することができます。SNS等への発信も可能です。会場や作品の写真がSNS等を通じてシェアされ、来館者と作家とのコミュニケーションのきっかけになればと考えています。

授賞式について

新型コロナウイルスの感染拡大対策のため、授賞式の開催について検討・調整しております。

日程 2021年2月19日（金）

※今後の詳細情報をご希望される場合は、別紙の申込書に必要事項をご記入の上、メール配信のご登録ください。授賞式開催の有無、入賞者の速報などお知らせ致します。

お問い合わせ

川崎市岡本太郎美術館 展覧会担当：佐藤、重田 広報担当：森近 (pr@taromuseum.jp)

〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区柵形7-1-5 生田緑地内

TEL：044-900-9898 / FAX：044-900-9966 <http://www.taromuseum.jp>

